

# 交流のひろば

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。

## チームワークの成果です



P T A 広報紙で首都圏入選  
諸岡 頼子さん(46)  
西善町

このほど、首都圏 P T A 広報紙コンクール・中学校の部で七中 P T A 広報紙「しらすぎ」が入選。主催新聞社の東京本社で先月二十五日、表彰された。この受賞作を編集した昨年度広報部の部長として活躍した。

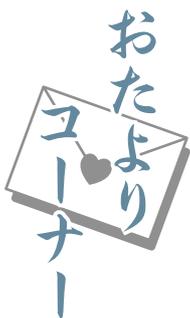
と思います。

また、友人との出会いやアルバイトなど多くのことを経験することになりますが、これからは自分の行動に責任が伴います。高校生のときのように先生や両親が面倒を見てくれるわけではありません。すべて自分の責任でやっていかなければならないのです。しかし、その責任を一つ一つ果たすことで成長し、大人になるのだと思います。

四年間という貴重な時間を悔いなく過ごせるかどうかは自分次第です。卒業の際には、胸を張って充実した四年間だったといえるよう、学生生活を満喫していきたいと思っています。

## 新たな一歩を

## 踏み出して



六供町・丸目哲也 18

多くの期待と希望を抱き、待ち焦がれていた前橋工科大での生活が始まりました。住み慣れた古里を離れ、前橋という新しい街で一人暮らしをする不安もありますが、それを払しょくするだけの楽しみが大学にはある

「四月上旬、入選の知らせを学校から聞きました。びっくりするばかりでしたが、部員の皆さんに感謝したくて、すぐ全員へ電話したんです。チームワークで取り組んだ苦労が実り、喜びを分かち合いました」  
同校の P T A 広報紙は夏と冬の年二回発行。昨年度は A 4 判八ページにし、一行の文字数を少なくするなど、それまでの形式にとらわれず、読みやすさを心掛けて紙面を一新した。

「 P T A の広報委員は初めてでしたが、文を書くことは好きなので、一年間、一生懸命に頑張りました。みんなで何回も会議を重ね、見出しやレイアウトにこだわったから、良い広報が出来たのだと思います」  
審査では、携帯電話の問題を取り上げた特集など、保護者の知りたい情報が豊富で、学校行事や P T A 活動の状況といった必要な要素がきちんと盛り込まれている点が評価された。  
「今年度の広報委員さんには自由な発想で興味や関心を広げてほしいですね。誰もが読みやすく、親しみやすい広報紙を期待しています」  
これからは、一読者に帰って「しらすぎ」の成長を見守り続けていくことだろう。

## まちのニュース



総社町巢烏

## 250年の歴史 春の祭典



総社町巢烏では四月十五日、「巢烏神社春の祭典」が行われました。江戸時代から伝わる行事で、町の安全と繁栄を祝い、毎年実施しています。

時々雨が降るあいにくの天気でしたが五十人が参加。神社へお参りした後、境内にある同町公民館分室で、住民同士の親交を深めました。

矢沢精吉自治会長は「神社と公民館分室が狭く、一度に多くの人に参加できないのが悩んでいます。でも、二百五十年以上続いている祭りなので、露店を出すなどの工夫をして、若い人が参加できるように祭りにしたいですね」と話していました。